

教育に関する事務の管理及び執行状況の
点検及び評価の結果に関する報告書

二戸市教育委員会

目 次

◆ I 点検・評価制度の概要	1 P
・ 審議の経過	2 P
◆ II 平成 25 年度二戸市教育委員会の運営状況（活動内容）	
・ 二戸市教育委員会の概要	3 P
・ 教育委員会の主な活動内容、事業費	4 P
・ 平成 25 年度二戸市教育委員会議一覧	5 P～ 6 P
・ 内部評価	7 P
◆ III 二戸市教育振興基本計画に基づく平成 25 年度「基本方針（目指す姿）を実現するための施策の方向」の取組実績（5 分野 26 項目）	8 P
・ 点検・評価分析シート	9 P～ 34 P

I 点検・評価制度の概要

地方教育行政の組織及び運営に関する法律には、教育委員会はその権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することが規定されています。

今年度、二戸市教育委員会では平成 23 年度に策定した二戸市教育振興基本計画に掲げられた「基本方針（目指す姿）を実現するための施策の方向」に掲載されている主要事業の施策区分別に平成 25 年度における取組状況について、点検及び評価を行いました。評価はそれぞれが分野の目的に沿った取り組みができているかどうかを担当課による総括（一次評価）を行うとともに、学識経験を有する者を活用した点検・評価（二次評価）を行います。

なお、これら点検・評価の具体的な項目や議会への報告及び公表の方法については、特に国が基準を定めることは行わず、各教育委員会が実情を踏まえて決定することとされています。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 27 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務を含む）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

1 点検・評価の対象年度

平成 25 年度

2 点検・評価の内容

(1) 平成 25 年度二戸市教育委員会の運営状況（活動内容）

(2) 二戸市教育振興基本計画に基づく平成 25 年度「基本方針（目指す姿）を実現するための施策の方向」の取組実績（5 分野 26 項目）

3 点検・評価の方法

教育委員会の運営状況及び平成 25 年度「基本方針（目指す姿）を実現するための施策の方向」の取組実績を取りまとめ、担当課による総括（一次評価）を行い、その後、委員による二次評価を行いました。

【二戸市教育行政に関する点検及び評価等検証委員】

（敬称略、順不同）

氏 名	委 員 の 区 分
横 山 健 治	教育全般に学識経験を有する者
斎 藤 正 衛	二戸市立石切所小学校評議員
千 葉 文 齋	二戸市社会教育委員
田 口 和 子	二戸市文化財調査委員

■ 審議の経過

1 平成 26 年 6 月 11 日（水）～平成 26 年 6 月 27 日（金）

教育委員会事務局において、二戸市教育振興基本計画に掲げられた平成 25 年度「基本方針（目指す姿）を実現するための施策の方向」に対する内部評価（一次評価）を行いました。

2 平成 26 年 7 月 7 日（月）

第 1 回二戸市教育行政に関する点検及び評価等検証委員会議を開催し、内部評価に関する意見・提言（外部評価・二次評価）を伺いました。

3 平成 26 年 7 月 31 日（木）

第 2 回二戸市教育行政に関する点検及び評価等検証委員会議を開催し、第 2 回二戸市教育行政に関する点検及び評価等検証委員会議における提言等を反映させた内部評価に関する意見・提言（外部評価・二次評価）を伺いました。

4 平成 26 年 8 月 29 日（金）

平成 26 年第 8 回二戸市教育委員会定例会において、「教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について」が審議され、議決されました。

II 平成 25 年度二戸市教育委員会の運営状況（活動内容）

■二戸市教育委員会の概要

1 教育委員会の目的

教育の機会均等、教育水準の維持向上及び地域の実情に応じた教育の振興を図るため、広く地域住民の意向を反映した責任ある教育行政を実現します。

2 教育委員会制度の仕組み

- ・教育委員会は首長から独立した機関で、地域の学校教育、社会教育、文化、スポーツ等に関する事務を担当する機関として、全ての都道府県及び市町村に設置されています。
- ・二戸市教育委員会は、5人の委員で構成しています。委員は、人格が高潔で教育、学術及び文化に関し、識見を有する人のうちから市長が市議会の同意を得て任命します。
- ・委員長は、委員の中から選挙され、教育委員会の会議を主宰し、委員会を代表します。
- ・教育長は、委員の中から教育委員会が任命し、教育委員会の指揮監督の下に教育委員会の権限に属する全ての事務をつかさどります。また、これらの事務を処理するために、教育委員会に事務局が置かれています。

二戸市教育委員会委員（平成 26 年 3 月 31 日現在）

職 名	氏 名	職 歴 等
委員長	清 川 泰	元小学校長
委員（委員長職務代理者）	平 栗 壽 隆	住 職
委員（委員長職務代理者）	佐々木 春 彦	自 営 業
委員	森 川 則 子	薬 剤 師
委員（教育長）	鳩 岡 矩 雄	元高等学校長

■教育委員会の主な活動内容

1 教育委員会議

(1) 教育委員会議の開催回数

平成 25 年度実績（平成 25 年第 4 回定例会～平成 26 年第 3 回定例会）

・定例会	12 回		
・臨時会	1 回		
・協議会	6 回	総計	19 回

(2) 議決の状況（付議事項数 計 36 件）

・教育委員会規則・規程等の制定・改廃	5 件
・教育機関の長・その他機関等の長の人事	4 件
・協議会・審議会委員等の任命・委嘱	13 件
・市議会定例会提出議案への同意	5 件
・選挙	2 件
・教科書採択	2 件
・その他	5 件

(3) 教育委員会会議（定例会・臨時会）の傍聴者数

平成 25 年度実績	1 人
------------	-----

2 教育委員の活動（平成 25 年度実績）

学校訪問、会議・行事等への出席状況（※委員 1 人につき 1 回）

・教育委員会が主催する行事、式典、会議等への出席	240 回
・教育委員会以外の団体等が主催する行事、式典、会議等への出席	126 回

3 事業費（平成 25 年度実績）

決算額	2,773 千円
・報酬	2,496 千円
・旅費	162 千円
・交際費	90 千円
・負担金	25 千円

平成25年度二戸市教育委員会議一覧

	開催日	開催場所	日 程 内 容
第4回 定例会	25.4.25 (木)	2階会議室	日程第 1 会期の決定 日程第 2 一般報告 日程第 3 議案第 1号 二戸市社会教育委員の人事について 日程第 4 議案第 2号 二戸市立公民館運営審議会委員の人事について 日程第 5 議案第 3号 二戸市立図書館協議会委員の人事について 日程第 6 議案第 4号 二戸市文化財調査委員の人事について 日程第 7 議案第 5号 二戸市歴史民俗資料館運営委員会委員の人事について 日程第 8 議案第 6号 二戸市スポーツ振興審議会委員の人事について 日程第 9 報告第 1号 二戸市教育委員会の後援・共催について
第5回 定例会	25.5.27 (月)	2階会議室	日程第 1 会期の決定 日程第 2 一般報告 日程第 3 議案第 1号 二戸市社会教育委員の人事について 日程第 4 議案第 2号 二戸市立公民館運営審議会委員の人事について 日程第 5 議案第 3号 二戸市立図書館協議会委員の人事について 日程第 6 議案第 4号 二戸市立学校給食センター運営委員の人事について 日程第 7 議案第 5号 文化財の指定について 日程第 8 報告第 1号 二戸市教育委員会の後援・共催について
第3回 協議会	25.5.27 (月)	2階会議室	協議事項 1 歴史・文化交流施設の整備について
第6回 定例会	25.6.27 (木)	2階会議室	日程第 1 会期の決定 日程第 2 一般報告 日程第 3 報告第 1号 二戸市教育委員会の後援・共催について
第7回 定例会	25.7.26 (金)	2階会議室	日程第 1 会期の決定 日程第 2 一般報告 日程第 3 議案第 1号 平成26年度使用小学校教科用図書の採択について 日程第 4 議案第 2号 平成26年度使用中学校教科用図書の採択について 日程第 5 報告第 1号 二戸市教育委員会の後援・共催について
第8回 定例会	25.8.29 (木)	2階会議室	日程第 1 会期の決定 日程第 2 一般報告 日程第 3 議案第 1号 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について 日程第 4 議案第 2号 市議会定例会提出議案への同意について (教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告について) 日程第 5 報告第 1号 二戸市教育委員会の後援・共催について
第9回 定例会	25.9.30 (月)	2階会議室	日程第 1 会期の決定 日程第 2 一般報告 日程第 3 議案第 1号 二戸市芸術文化振興懇話会委員の人事について 日程第 4 報告第 1号 二戸市教育委員会の後援・共催について
第4回 協議会	25.9.30 (月)	2階会議室	協議事項 1 平成25年度全国学力・学習状況調査結果について
第10回 定例会	25.10.30 (水)	2階会議室	日程第 1 会期の決定 日程第 2 一般報告 日程第 3 報告第 1号 二戸市教育委員会の後援・共催について
第5回 協議会	25.10.30 (水)	2階会議室	協議事項 1 平成25年度 岩手県学習定着度状況調査結果(二戸市内各校の状況)について
第11回 定例会	25.11.28 (木)	2階会議室	日程第 1 会期の決定 日程第 2 一般報告 日程第 3 議案第 1号 二戸市教育委員会表彰の受賞者について 日程第 4 議案第 2号 市議会定例会提出議案の同意について (二戸市野球場条例の一部を改正する条例) 日程第 5 議案第 3号 市議会定例会提出議案の同意について (二戸市屋内運動場条例の一部を改正する条例) 日程第 6 議案第 4号 市議会定例会提出議案の同意について (公の施設の指定管理者の指定について) 日程第 7 報告第 1号 二戸市教育委員会の後援・共催について
第6回 協議会	25.11.28 (木)	2階会議室	協議事項 1 平成25年度 岩手県学習定着度状況調査結果について
第12回 定例会	25.12.26 (木)	2階会議室	日程第 1 会期の決定 日程第 2 一般報告 日程第 3 議案第 1号 二戸市学校給食センター運営委員の人事について 日程第 4 議案第 2号 二戸市学校給食センター学校給食費の改定について 日程第 5 報告第 1号 二戸市教育委員会の後援・共催について

第1回 定例会	26.1.30 (木)	2階会議室	<p>日程第 1 会期の決定</p> <p>日程第 2 一般報告</p> <p>日程第 3 議案第 1号 市議会定例会提出議案の同意について (二戸市社会教育委員条例の一部を改正する条例)</p> <p>日程第 4 報告第 1号 二戸市教育委員会の後援・共催について</p>
第1回 協議会	26.2.19 (水)	2階会議室	協議事項 1 平成26年度教育施政方針要旨について
第2回 定例会	26.2.22 (土)	2階会議室	<p>日程第 1 会期の決定</p> <p>日程第 2 一般報告</p> <p>日程第 3 選挙第 1号 二戸市教育委員会委員長の選挙について</p> <p>日程第 4 選挙第 2号 二戸市教育委員会委員長職務代理者の指定について</p> <p>日程第 5 議案第 1号 二戸市教育委員会教育長の選任について</p> <p>日程第 6 議席の決定</p> <p>日程第 7 議案第 2号 平成26年度教育施政方針要旨について</p> <p>日程第 8 議案第 3号 二戸市学校給食センター運営委員の人事について</p> <p>日程第 9 報告第 1号 二戸市教育委員会の後援・共催について</p>
第2回 協議会	26.2.22 (土)	2階会議室	協議事項 1 平成26年第1回市議会定例会一般質問に対する二戸市教育委員会見解について (1) 全国学力・学習状況調査(全国学力テスト)について (2) 教育委員会制度改革について
第1回 臨時会	26.2.28 (金)	2階会議室	<p>日程第 1 会期の決定</p> <p>日程第 2 議案第 1号 教育機関の長の人事について</p>
第3回 定例会	26.3.24 (月)	2階会議室	<p>日程第 1 会期の決定</p> <p>日程第 2 一般報告</p> <p>日程第 3 議案第 1号 二戸市教育研究所管理規則の一部を改正する規則</p> <p>日程第 4 議案第 2号 二戸市就学指導委員会規程の一部を改正する訓令</p> <p>日程第 5 議案第 3号 二戸市立小中学校に就学すべき者の指定学校の変更に関する規程の一部を改正する告示</p> <p>日程第 6 議案第 4号 二戸市育英資金貸付返還金口座振替収納事務取扱要綱</p> <p>日程第 7 議案第 5号 教育部長及び課長等の人事について</p> <p>日程第 8 議案第 6号 教育機関の長の人事について</p> <p>日程第 9 議案第 7号 その他の教育機関の長の人事について</p> <p>日程第 10 報告第 1号 二戸市教育委員会の後援・共催について</p>

■ 内部評価（教育委員活動総括）

◆ 平成 25 年度における教育委員会の会議は、定例会 12 回、臨時会 1 回、協議会 6 回が開催され、平成 24 年度に比べて協議会は 2 回増えた。協議会の主な議題は学力向上に関する取組についてで、教育委員に報告、説明の機会を増やし意見を伺い、「二戸授業モデル」の共通理解を図った。

◆ 平成 25 年度における教育委員会の活動は、委員が学校現場の実態把握を目的として、積極的に市内の小中学校を訪問し、教職員と意見交換を行った。また、福岡中学校の建設現場の視察や教育振興運動関係行事、市立小中学校の入学式・卒業式、文化祭等に出席し、教育現場の課題を教員や保護者等から直接聞き、教育委員会会議はもとより各種会議等で意見等を述べている。

◆ 教育委員は、教育行政の諸課題について深い理解が求められることから、二戸地区教育推進協議会研修会や岩手県市町村教育委員協議会委員研修会、東北六縣市町村教育委員会連合会教育委員・教育長研修会に参加し、教育課題の把握及び分析、委員としての資質向上に努めた。

◆ 教育委員会の公開については、ホームページ等により定期的に告知しており、ホームページは平成 24 年度と比較し、市民が分かりやすい内容構成に努めている。さらに広く教育行政の周知に努め、市民の理解を求めていくことが大切である。また、教育委員会の傍聴者については、教育長の選任関係議案に伴う報道関係者 1 名であった。

Ⅲ 二戸市教育振興基本計画に基づく平成 25 年度「基本方針（目指す姿）を実現するための施策の方向」の取組実績

・点検・評価項目

点検・評価項目は、二戸市教育振興基本計画に掲げられた「基本方針（目指す姿）を実現するための施策の方向」について、平成 25 年度において予算措置がなされたものを基本としています。

1－教育委員会の充実 ～市民から信頼される教育行政推進のために～	【前掲 1 P～4 P】
平成 25 年度二戸市教育委員会議一覧	【前掲 5 P～6 P】
内部評価及び点検・評価項目	【前掲 7 P～8 P】
2－生涯学習の充実 ～市民が生涯にわたっていきいきとくらすために～	
（1）広がりや深まりのある生涯学習の推進	
①多様なメディアを活用した生涯学習情報の発信等	【生涯学習課】……………9 P
3－学校教育の充実 ～子供たちが自分の力でこれからの時代を切り開くために～	
（1）自立して生きる力を育む教育の推進	
①学力向上対策の推進	【教育企画課】……………10 P
②教育相談・適応指導の充実	【教育企画課】……………11 P
③国際理解教育の推進	【教育企画課】……………12 P
（2）特別支援教育の推進	
①特別支援教育の充実	【教育企画課】……………13 P
（3）健康・安全教育の推進	
①学校保健・安全教育の充実	【教育企画課】……………14 P
②学校給食の充実	【学校給食センター】…15 P
③地産地消の推進	【学校給食センター】…16 P
（4）幼児教育・高等学校教育の充実	【教育企画課】……………17 P
（5）教育環境の整備・充実	
①就学支援・学校図書の実施	【教育企画課】……………18 P
②福岡中学校建設事業等	【教育施設整備課】…19 P
4－社会教育の充実 ～社会全体で教育力向上のために～	
（1）教育振興運動を基盤とした教育力の向上	
①教育振興運動の推進等	【生涯学習課】……………20 P
②公民館各種講座の実施	【市立公民館】……………21 P
③図書サービスの充実	【図書館】……………22 P
（2）社会教育施設的环境整備	
①公民館施設の計画的改修	【市立公民館】……………23 P
②図書館の整備・充実	【図書館】……………24 P
5－芸術文化の振興 ～潤いのある豊かな生活のために～	
（1）芸術文化の振興	
①郷土芸能保存団体への活動支援等	【文化財課】……………25 P
②教育文化団体への活動支援等	【生涯学習課・公民館】26 P
（2）文化財の保護・保存と活用	
①天台寺文化財修繕事業の促進	【文化財課】……………27 P
②史跡九戸城跡の保護と活用	【文化財課】……………28 P
③市内遺跡発掘調査事業等	【文化財課】……………29 P
（3）郷土への誇りと愛着を深める地域文化の継承	
①市史編さん事業の推進	【生涯学習課】……………30 P
②歴史民俗資料の収集と研究の推進	【文化財課】……………31 P
6－スポーツ・レクリエーションの振興～スポーツを通じた健康づくりを進めるために～	
（1）みんなが楽しむスポーツの振興	
①スポーツ指導者の育成・健康づくりの支援等	【生涯学習課】……………32 P
②スポーツ施設の整備・充実	【生涯学習課】……………33 P
（2）夢と感動の競技スポーツの推進	
①各種スポーツ大会・教室の開催	【生涯学習課】……………34 P

以上、9 ページから 26 項目

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況
点検・評価分析シート

主要事業	多様なメディアを活用した生涯学習情報の発信等		担当課等	生涯学習課					
事業名称	2 生涯学習の充実								
項目名称	(1) 広がりや深まりのある生涯学習の推進								
① 事務事業概要	実施根拠法令	社会教育法第5条（市町村教育委員会の事務）							
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他（ ）							
	事業費内訳	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫補助 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 一般財源 <input checked="" type="checkbox"/> その他（地域づくり人づくり基金）							
	対象（～に対して）	市民 放送大学生 保護者及び地域住民 1歳6カ月健診対象親子							
	目的（目指すべき姿）	・あらゆる世代の市民が「いつでも・どこでも・だれでも」学習できる、多種多様な市民ニーズに対応した環境整備を進める。また、生涯学習に市民一人ひとりが意欲と生きがいをもって取り組めるよう、主体的に参加できる学習機会の充実を目指す。							
	事業内容 （平成25年度）	1 多様なメディアを活用した生涯学習情報の発信（広報誌「こしゃーる」欄やHP等を利用した情報提供） 2 市民の「学び直し」など生涯学習活動の支援 ・放送大学岩手学習センター二戸校の管理と活用 ・成人教育講座の開催（高齢者のための講演会、浄法寺地区教育連絡会、パソコン教室等） ・学校開放講座の開催支援 ・1歳6カ月健診時の読み聞かせ講座							
② 事業実績・効果	区 分		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	事業の実績	1	生涯学習情報掲載誌の発行回数	回	12	12	12	12	12
		2	二戸校配架科目数（延べ）	科目	77	101	120	134	156
		3	成人教育講座開催数	回	5	4	3	3	4
		4	学校開放講座開催数	回	15	7	12	12	17
		5	読み聞かせ講座開催数	回	10	10	10	10	10
	事業効果	1	二戸校利用者数	人	53	120	54	56	172
		2	成人教育参加者数（延べ）	人	385	556	229	306	322
		3	学校開放講座参加者数（延べ）	人	1,022	392	230	705	1,155
		4	読み聞かせ講座参加者数	人	214	332	394	337	349
③ 事業費	区 分		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	決 算 額		千円	2,014	556	574	746	671	
④ 事業評価	総括（成果と課題）	【 多様なメディアを活用した生涯学習情報発信の成果と課題 】 1. 市広報誌を利用して生涯学習情報を提供することで、効率的に市民への情報提供ができた。 2. ホームページについては更新が滞ることもあり、情報提供ツールとしての十分な活用が図れなかった。							
		【 市民の「学び直し」など生涯学習活動支援の成果と課題 】 1. 放送大学二戸校の利用者数は、頻繁に利用する放送大学生がいたことから大幅に増加したが、一般利用者は少ない状況にある。二戸校は、県内に3カ所あるセンター外視聴施設の中で唯一、一般市民にも開放している施設であるので、身近な生涯学習の拠点として有効に活用されるよう市民への更なる周知とより利用しやすい環境の整備に努めたい。 2. 持ち込み形式としたパソコン教室は、使い慣れた環境で学べると参加者から好評であった。また、今回より申込受付開始日を設定したことで、広報の配付時期の差による応募可能時期のズレが解消されよかつたとの声を参加者からいただいた。 3. 学校開放講座は事業が浸透してきたためか開催数が増え、地域に開かれた学校としての活用が図られた。 4. 読み聞かせ講座では、読み聞かせのポイントを解説したチラシを併せて配付しており、家庭での読書習慣の定着につながることを期待される。							

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況

点検・評価分析シート

主要事業	学力向上対策の推進		担当課等	教育企画課					
事業名称	3 学校教育の充実								
項目名称	(1) 自立して生きる力を育む教育の推進-①								
① 事務事業概要	実施根拠法令	教育基本法 学校教育法							
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他()							
	事業費内訳	<input type="checkbox"/> 国庫補助 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 一般財源 <input checked="" type="checkbox"/> その他(地域づくり人づくり基金)							
	対象(～に対して)	児童 生徒 保護者 教職員							
	目的(目指すべき姿)	・学校教育は、次代を担う児童生徒が心身ともに大きく成長するための基盤を築く重要な役割を担っている。本市では、これまで学校・家庭・地域の連携により、学力の向上を図るとともに、豊かな心や健やかな体を育む教育を推進してきた。しかし、核家族化や生活様式の多様化、地域社会とのつながりの希薄化など、子どもたちを取り巻く環境は大きく様変わりし、その影響から基本的な生活習慣や自ら学ぼうとする力、考え行動する力の低下が懸念されている。そのため、学校・家庭・地域の連携をさらに強化し、子どもたちが主体的に学び、豊かな人間性を育む教育の推進を目指す。							
	事業内容 (平成25年度)	1 学力と創造性を伸ばす教育の推進(学力向上対策の推進)							
② 事業実績・効果	区 分		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	事業の実績	1	学習定着度状況調査(県平均100)	%	(小)96 (中)92	(小)98 (中)97	(小)102 (中)99	(小)100 (中)100	(小)103 (中)100
		2							
		3							
		4							
	事業効果	1							
③ 事業費	区 分		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	決 算 額		千円	—	—	2,120	1,867	2,312	
④ 事業評価	総括(成果と課題)	【 事業の成果と課題 】 1. 学力向上プロジェクト事業は、実質3年が経過しその取り組み成果が着実に現れてきている。岩手県小中学校学習定着度状況調査においては、小4、小5どちらの学年でも、過去5年間で初めて全教科で県の平均正答率を上回る結果となった。全国学力・学習状況調査結果からも、全国の平均を上回る学年、教科が増えている。 2. 「二戸授業モデル」による授業改善や重点指導項目(算数・数学)への取り組み、授業力向上研修会の実施等の蓄積により、二戸市の児童生徒の学力が着実に伸びてきているが、「知識」に関する問題(基本問題)の定着度は高いものの、「活用」に関する問題(応用問題)への対応力に課題が見られる。正答率の低い設問をしっかりと分析し、思考力・判断力・表現力を高める言語活動の充実等、活用力を意識した授業実践が必要である。							

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況

点検・評価分析シート

主要事業		教育相談・適応指導の充実		担当課等		教育企画課			
事業名称		3 学校教育の充実							
項目名称		(1) 自立して生きる力を育む教育の推進-②							
① 事務事業概要	実施根拠法令		教育基本法 学校教育法						
	実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
	事業費内訳		<input type="checkbox"/> 国庫補助 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 一般財源 <input checked="" type="checkbox"/> その他（地域づくり人づくり基金）						
	対象（～に対して）		児童 生徒 保護者 教職員						
	目的（目指すべき姿）		・学校教育は、次代を担う児童生徒が心身ともに大きく成長するための基盤を築く重要な役割を担っている。本市では、これまで学校・家庭・地域の連携により、学力の向上を図るとともに、豊かな心や健やかな体を育む教育を推進してきた。しかし、核家族化や生活様式の多様化、地域社会とのつながりの希薄化など、子どもたちを取り巻く環境は大きく様変わりし、その影響から基本的な生活習慣や自ら学ぼうとする力、考え行動する力の低下が懸念されている。そのため、学校・家庭・地域の連携をさらに強化し、子どもたちが主体的に学び、豊かな人間性を育む教育の推進を目指す。						
事業内容 (平成25年度)		1 豊かな人間性の育成とよい人間関係づくり（教育相談・適応指導の充実） 学校サポートチーム巡回訪問、いじめ・不登校対策委員会、学校生活アンケート等							
② 事業実績・効果	区 分			単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	事業の実績	1	不登校児童生徒の出現率	%	小 0.06	小 0.06	小 0.13	小 0.27	小 0.35
					中 3.04	中 2.78	中 2.17	中 2.38	中 2.15
事業効果	1								
③ 事業費	区 分			単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	決算額			千円	2,029	3,968	4,950	3,877	2,573
④ 事業評価	総括 (成果と課題)	【事業の成果と課題】 1. 教育相談員の複数配置により、定期的な学校訪問を実施することで、児童生徒の状況についての情報共有の充実がより一層図られるようになった。また、相談業務においても、学校生活に関すること、生活及び行動に関すること、家庭教育に関すること、その他児童生徒の多岐にわたる問題全般について適切な対応を行うことができた。 2. 学校との連携を強化するとともに、保健、福祉等の関係機関との連携を図ることにより、情報共有と学校支援に努めることができた。また、問題を抱える子ども等の自立支援事業によるいじめ・不登校対策委員会の設置と会議の開催により協力体制の構築を図ることができ、いじめ等の未然防止と問題の早期解決が図られるようになった。 3. 児童生徒及び保護者が抱える問題の解決には、学校だけでは対応が困難な状況も見られるため、教育委員会事務局内に配置する教育相談員の必要性は高い。また、不登校児童生徒の出現率は、中学校では減少したが、小学校では微増傾向にあり、さらなる教育相談・適応指導の充実が求められる。							

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況

点検・評価分析シート

主要事業	国際理解教育の推進		担当課等	教育企画課					
事業名称	3 学校教育の充実								
項目名称	(1) 自立して生きる力を育む教育の推進-③								
① 事務事業概要	実施根拠法令	教育基本法 学校教育法							
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他()							
	事業費内訳	<input type="checkbox"/> 国庫補助 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 一般財源 <input checked="" type="checkbox"/> その他(地域づくり人づくり基金)							
	対象(～に対して)	児童 生徒 保護者 教職員							
	目的(目指すべき姿)	・二戸市中学生海外派遣研修協議会は、二戸市内の中学生による海外派遣研修に関わる事業運営等を行うことを目的とする。 ・異国の文化を学び触れ合うことにより、国際感覚を有する次代を担う人材を育成する。							
	事業内容 (平成25年度)	1 二戸市中学生異文化交流研修事業(平成25年6月29日(土)～30日(日)) 市内の中学生28名が岩手大学に通う多国籍の外国人留学生と岩手山青少年交流の家において、一緒に寝食を共に活動し、異文化に対する理解を深め相互交流を行った。 2 二戸市中学生海外派遣研修事業(平成26年1月4日(日)～11日(日)) 市内の中学生10名がイギリスのロンドンやグラスゴー等を訪問し、ホームステイを主とした海外での生活や体験、交流を行い、現地での英会話や文化に直接触れることができた。							
② 事業実績・効果	区 分		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	事業の実績	1	異文化交流研修事業	人	-	24	28	30	28
		2	海外派遣研修事業	人	-	-	10	10	10
		3							
		4							
事業効果	1								
③ 事業費	区 分		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	決 算 額		千円	-	200	4,100	5,200	5,200	
④ 事業評価	総括(成果と課題)	【事業の成果と課題】							
		1. 異文化交流研修事業は、岩手大学国際交流センターの協力をいただき、多くの国からの留学生と交流できた。個人負担もなく希望すれば誰でも気軽に参加することができた。 海外派遣研修事業は、田中館愛橘博士ゆかりの地ということもあり、イギリス・グラスゴーなどを訪問した。他国の文化に触れ視野が大きく広がったほか、博士の業績についても学び、海外で郷土の偉人について理解を深めることができた。 2. 海外派遣研修事業は、イギリス、グラスゴー周辺を研修先として平成26年度で3年目を迎える。平成27年度以降の事業のあり方については、円安の影響によるコスト面等を考慮した事業形態を検討する必要がある。							

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況
点検・評価分析シート

主要事業	特別支援教育の充実		担当課等	教育企画課					
事業名称	3 教育の充実								
項目名称	(2) 特別支援教育の推進								
① 事務事業概要	実施根拠法令	教育基本法 学校教育法							
	実施方法	■直接実施 □業務委託 □補助金交付 □その他 ()							
	事業費内訳	□国庫補助 □県単 ■一般財源 □その他 ()							
	対象(～に対して)	障がいを持つ児童生徒や特別支援を必要とする児童生徒 岩手県教育委員会							
	目的(目指すべき姿)	<p>・特別支援教育は、個々の教育的ニーズに応じた適切な対応が求められている。本市では、これまで特別支援教員補助員の配置や巡回教育相談の実施、関係機関との連携により障がいの状況に応じた指導を進めてきたが、発達障がいなど特別な支援を必要とする児童生徒もおり、一人ひとりの状況に応じた学習環境の設定やきめ細やかな対応を行う。</p> <p>・このことから、特別支援教育支援員を配置し、学習・学校生活両面の支援や教員を補助することにより、円滑な学校教育活動の遂行を図る。また、特別支援学校高学部については、状況に対応した要望を行い、その設置を目指す。</p>							
事業内容 (平成25年度)	<p>1 特別支援教育の推進</p> <p>2 特別支援学校中学部の開設</p>								
② 事業実績・効果	区分		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	事業の実績	1	特別支援員の人数	人	14	14	13	12	13
		2	特別支援員配置校	校	10	9	9	7	8
		3							
		4							
事業効果	1								
③ 事業費	区分		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	決算額			14,783	14,922	14,074	13,044	14,014	
④ 事業評価	総括 (成果と課題)	<p>【事業の成果と課題】</p> <p>1. 特別な支援を必要とする児童生徒が安心して学校生活を送ることができるよう特別支援教育支援員を配置し、きめ細やかな支援や学級全体の円滑な運営に努めた。また、みたけ支援学校二戸分教室小学部や福岡中学校の分教室中学部など、望ましい環境での支援が行われた。</p> <p>2. 二戸市には、平成20年4月に盛岡みたけ支援学校二戸分教室小学部が石切所小学校に開設、25年4月に同中学部が福岡中学校に開設された。</p> <p>しかしながら、対象児童生徒が増えている状況を鑑み、併せて高等部が未設置のため中学部を終えた後の進学(平成28年4月)に向けて、不安を抱えているのが現状である。そこで、高等部の設置要望を引き続き岩手県へ強く要望していく必要がある。</p>							

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況
点検・評価分析シート

主要事業	学校保健・安全教育の充実		担当課等	教育企画課					
事業名称	3 学校教育の充実								
項目名称	(3) 健康・安全教育の推進-①								
①事務事業概要	実施根拠法令	学校保健安全法							
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他（ ）							
	事業費内訳	<input type="checkbox"/> 国庫補助 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 一般財源 <input type="checkbox"/> その他（ ）							
	対象（～に対して）	児童 生徒 保護者 教職員							
	目的（目指すべき姿）	<p>・本市では、これまで医師会・歯科医師会・薬剤師会の協力・指導を頂きながら、学校保健会を中心に、健康・安全教育に取り組んできた。しかし、児童生徒の体格は確実に向上しているものの、生活習慣に起因すると思われる疾病の増加、中でも肥満傾向の児童生徒出現率については、岩手県（平成21年度学校保健統計ワースト1位）の中でも県北地域の出現率が高く、二戸市においては全国平均を大きく上回る状態が続いている。そのため、肥満対策として運動・食事両面での取組が新たに期待されており、今後は、健康診断の結果や体力・運動能力・運動習慣検査の結果を基に、児童生徒が自らの健康について問題意識を持ち、課題解決に向けて取り組む環境づくりを目指す。</p>							
事業内容（平成25年度）	1 学校保健の推進 2 安全教育の推進								
②事業実績・効果	区 分		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	事業の実績 (肥満児童 生徒出現率)	1	二戸市(小4)	%	17.20	18.32	12.96	17.12	14.35
			岩手県	%	12.14	12.01	12.00	12.25	11.03
			全国	%	8.60	8.30	7.62	8.26	8.26
		2	二戸市(中1)	%	14.91	18.18	13.07	15.13	19.78
			岩手県	%	14.64	12.20	12.50	11.66	12.43
			全国	%	10.29	9.98	9.40	9.68	9.62
事業効果	1								
③事業費	区 分		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	決 算 額		千円	12,993	12,668	12,979	13,139	12,411	
④事業評価	総括 (成果と課題)	【事業の成果と課題】							
		<p>1. 児童生徒の健康を将来にわたって守ろうという観点から、毎年度各種健診を実施し、学校や医療機関等との連携を密にしながら取り組みを進め、円滑に事業を実施することができた。</p> <p>2. 二戸地区の肥満率は、全国の中でも高い状態であり、将来の生活習慣病予防に資するためにも必要であるとの観点から、その改善に向けた取り組みを進めているが、単年で見ても全国と比べて高い状況であるとともに、平成22年の小学4年生（全国比出現率2.20倍）の3年後である平成25年の中学1年（同2.05）も引き続き出現率が高い現状であるために、今後も各関係機関と連携を図りながら、各種取り組みを進める必要がある。</p>							

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況
点検・評価分析シート

主要事業	学校給食の充実		担当課等	二戸市学校給食センター					
事業名称	3 教育の充実								
項目名称	(3)健康・安全教育の推進								
① 事務事業概要	実施根拠法令	学校給食法							
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他（ ）							
	事業費内訳	<input type="checkbox"/> 国庫補助 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 一般財源 <input type="checkbox"/> その他（ ）							
	対象（～に対して）	児童 生徒 教職員							
	目的（目指すべき姿）	・学校給食は児童生徒の心身の健全な発達に資するものであり、かつ正しい食習慣と適切な判断力を養う上で重要な役割を果たすものであることから、学校給食の充実及び学校における食育の推進を図ることを目的とする。							
	事業内容（平成25年度）	1 市内小・中学校に対する学校給食の提供 小学校9校、中学校5校（盛岡みたけ支援学校二戸分教室小・中学部含む）							
② 事業実績・効果	区 分		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	事業の実績	1	給食数	食	489,808	477,227	474,031	451,000	437,260
		2	給食日数	日	177.5	178.5	180.5	179.0	175.5
		3	TTによる指導	回	—	—	—	—	57
		4							
事業効果	1								
③ 事業費	区 分		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	決 算 額		千円	112,764	119,770	119,165	113,239	109,899	
④ 事業評価	担当課による総括（成果と課題）	【事業の成果と課題】							
		1. 児童生徒の心身の健全な発達に資するため、安全で安心な給食の提供に努めるとともに文部科学省が示す「学校給食摂取基準」を参考に栄養バランスのとれた献立により、1日約2,500食を市内14小中学校に提供した。また、学校教諭と栄養教諭が連携した食育指導（※TTによる指導）を展開したことにより、児童生徒が自らの食生活について正しい知識を深めることができた。							
		2. 児童生徒が学習した内容を家庭に「食育だより」を通じ周知していくなど、家庭と連携した食育指導の充実に努めた。							
		3. 食生活の多様化により児童生徒も生活習慣病や食物アレルギーなどの健康問題が増加傾向にあることから、家庭や学校、関係機関との連携のもと健全な食生活の構築に努めていく必要がある。							
		※ TT（チームティーチング）：複数の教師が協力して授業を行う指導方法							

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況
点検・評価分析シート

主要事業	地産地消の推進		担当課等	二戸市学校給食センター					
事業名称	3 学校教育の充実								
項目名称	(3)健康・安全教育の推進③								
①事務事業概要	実施根拠法令	学校給食法							
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他()							
	事業費内訳	<input type="checkbox"/> 国庫補助 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 一般財源 <input type="checkbox"/> その他()							
	対象(～に対して)	児童 生徒 保護者 教職員							
	目的(目指すべき姿)	・地場産品の使用による、地元農業者の生産意欲向上と地域活性化及び児童生徒における二戸市の食文化等の理解の増進を目的とする。							
	事業内容 (平成25年度)	1. 二戸市産農産物等の地消推進							
②事業実績・効果	区分		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	事業の実績	1	地産地消	%	40.5	36.9	40.6	43.5	45.2
		2							
		3							
		4							
事業効果	1								
③事業費	区分		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	決算額		千円	112,764	119,770	119,165	113,239	109,899	
④事業評価	総括(成果と課題)	【事業の成果と課題】							
		<p>1. 地元産の食材を毎月19日(食育の日)、25日(二戸食の日)を中心に取り入れた給食の提供により、児童生徒に郷土の優れた食文化についての理解と食生活が人々の様々な活動によって支えられていることへの理解が深まった。また、生産農家及び地元産取扱い業者の協力を得ながら生産物の品質、安全性の意識の向上を図った結果、新たにきゅうり農家の参入につながり、地産地消の向上となった。</p> <p>2. 市農林課の協力のもと、新たな試みとして学校給食の食材全てを二戸産の農畜産物で提供する取り組みを実施したことにより、地産地消の推進、農業の生産振興に寄与した。また、児童生徒に新鮮で安全・安心な食材の確保と生産、流通、消費について正しい理解を深めることができた。</p>							

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況
点検・評価分析シート

主要事業	就学前教育の支援等		担当課等	教育企画課					
事業名称	3 学校教育の充実								
項目名称	(4) 幼児教育・高等学校教育の充実								
①事務事業概要	実施根拠法令	二戸市幼稚園就園奨励交付補助金要綱 幼稚園教育要領 保育所保育指針学習指導要領							
	実施方法	■直接実施 □業務委託 ■補助金交付 □その他 ()							
	事業費内訳	■国庫補助 □県単 □一般財源 □その他 ()							
	対象(～に対して)	保育料を減免する幼稚園の設置者 幼稚園 小学校の教諭 保育士							
	目的(目指すべき姿)	<p>・家庭環境、家族形態の多様化により、家庭の教育力の低下が懸念され、集団における幼児教育が重要視されることから、施設の円滑な運営と就園に対する支援を継続するとともに、幼児が円滑に小学校に適應できるよう、幼稚園・保育所・小学校間の連携を深め、情報共有と相互理解に努める。</p> <p>また、高等学校の再編整備が進められているなか、小中学校で培われた学習意欲や向上心の伸長を図るため、多様な生徒の受け入れが可能となる環境整備や関係当局に働きかける。</p>							
	事業内容 (平成25年度)	<p>1 就園奨励補助事業</p> <p>2 幼・保・小連携の強化</p>							
②事業実績・効果	区分		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	事業の実績	1	就園奨励費補助事業	人	194	186	188	158	151
		2	幼・保・小連携推進会議	回	3	3	3	3	3
		3							
		4							
事業効果	1								
③事業費	区分		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	決算額		千円	補助金 18,037	補助金 19,417	補助金 20,873	補助金 16,699	補助金 17,196	
④事業評価	総括 (成果と課題)	【就園奨励費補助事業の成果と課題】							
		<p>1. 保護者の経済的負担を軽減することで、幼稚園の就園が奨励され、幼稚園教育の普及・充実において有効である。</p> <p>2. 国の補助制度（幼稚園就園奨励補助金）があることから効率的であるが、国の補助要綱の補助率（3分の1）による補助額となっている。</p>							
④事業評価	総括 (成果と課題)	【幼・保・小連携事業の成果と課題】							
		<p>1. 年2回の幼・保・小連携推進会議及び年1回の幼・保・小連携研修会実施している。幼稚園・保育所・小学校の教職員が一堂に会し、授業参観や情報交換、意見交流を行うことにより、小学校での円滑な受け入れが可能となり、一層の相互理解と指導方法の工夫ができるようになっている。</p> <p>2. 学校と施設が互いに工夫して交流活動を実施しているが、さまざまな活動にも取り組んでいることから、年間指導計画の立案に苦慮している。また、幼児が小学校に就学する際に、引き継ぎの充実を図っているが、そのために事務処理量が多くなっている。引き継ぎがより充実するよう、教職員等による引き継ぎ会のあり方をさらに工夫していく必要がある。</p>							

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況
点検・評価分析シート

主要事業	就学支援の充実等		担当課等	教育企画課					
事業名称	3 学校教育の充実								
項目名称	(5) 教育環境の整備・充実①								
① 事務事業概要	実施根拠法令	学校教育法 学校図書館法							
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他()							
	事業費内訳	<input type="checkbox"/> 国庫補助 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 一般財源 <input type="checkbox"/> その他()							
	対象(～に対して)	児童 生徒 教職員							
	目的(目指すべき姿)	<p>・経済的理由により就学困難な者に対し、給食費、学用品費等について援助する「要保護及び準要保護児童生徒援助」を行い、就学支援体制の充実に努める。</p> <p>また、真の学力は、読書活動の充実によるところが大きいとの考えに立ち、子どもたちが読書活動を通して、言葉を学び、感性を磨き、創造力を豊かなものにし、よりよい人生を送る力を育むため学校図書館の充実に努める。</p>							
	事業内容 (平成25年度)	1. 就学支援の充実 2. 学校用図書 of 充実							
② 事業実績・効果	区 分		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	事業の実績	1	要保護及び準要保護児童生徒援助	人	289	294	288	268	263
		2	学校図書標準充足率(小学校)	%	105.2	104.3	103.1	108.8	113.1
		3	学校図書標準充足率(中学校)	%	90.2	96.3	99.8	99.7	103.3
	事業効果	1							
③ 事業費	区 分		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	決算額	1	要保護及び準要保護児童生徒援助費	千円	20,632	22,396	25,440	23,167	23,388
		2	学校図書購入費(小学校)	千円	1,428	1,435	4,024	1,690	2,959
		3	学校図書購入費(中学校)	千円	1,342	1,078	3,171	1,377	1,805
④ 事業評価	総括(成果と課題)	【就学支援の充実に関する成果と課題】 1. 経済的理由により就学困難と認められる263人の児童生徒に対して給食費、医療費及び就学に必要な学用品費等各種経費について援助した。 2. 就学支援制度の周知を図り、引き続き就学困難者の把握に努める必要がある。							
		【学校用図書の充実に関する成果と課題】 1. 平成25年度は通常配分2,790千円に寄附金分2,000千円を増額した4,790千円を配分し、児童・生徒のニーズに応える読み物、教科等の学習に利用できる図書資料等を整備することができた。 2. 学校図書標準充足率について、平成25年度実績を見ると、小学校中学校共に100%を超えた。今後も、適正な補充、廃棄を行いながら整備を進める必要がある。 また、平成26年度より、各学校の図書館環境の充実を図るため学校図書館支援員2名による巡回訪問を行うこととなった。							

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況
点検・評価分析シート

主要事業	福岡中学校建設事業等		担当課等	教育施設整備課				
事業名称	3 学校教育の充実							
項目名称	(5) 教育環境の整備・充実-②							
① 事務事業概要	実施根拠法令		学校教育法					
	実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他()					
	事業費内訳		<input checked="" type="checkbox"/> 国庫補助 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 一般財源 <input checked="" type="checkbox"/> その他(起債)					
	対象(～に対して)		児童生徒 教職員					
	目的(目指すべき姿)		安全で安心な学校生活をおくるための教育環境の整備					
	事業内容 (平成25年度)		1 福岡中学校建設事業 2 小中学校リフレッシュ事業 <p style="text-align: right;">単位：千円</p>					
② 事業実績・効果	区 分		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	事業の実績	1 福岡中学校建設事業						
		耐震診断業務	14,239					
		測量設計業務等		10,732	93,503			
		校舎建築工事等				552,062	2,525,661	
		2 小中学校リフレッシュ事業						
		福岡小校舎改修工事	2,625					
		二戸西小フェンス改修工事	210					
		福岡中改修工事(渡り廊下等)	3,040					
		浄法寺中フェンス改修工事	515					
		金田一中排水設備改修工事	15,883					
		御返地小改修工事(屋上防水)		1,275				
		金田一小改修工事(屋根塗装)		4,775				
		石切所小昇降機改修工事		3,990				
		福岡中改修工事(体育館天井等)		14,538				
		御返地小プールろ過機改修工事			5,556			
		御返地小プールサイド改修工事			9,349			
		石切所小ガス設備改修工事			567			
		中央小改修工事(特別支援教室)			1,533			
		金田一中バックネット改修工事				6,609		
		金田一中トイレ改修工事				2,282		
		中央小プールろ過機改修工事					6,689	
		石切所小プールろ過機改修工事					6,115	
		二戸西小フェンス改修工事					585	
		御返地中校舎外壁改修工事					17,931	
浄法寺中プールサイド改修工事						6,720		
浄法寺中放送設備改修工事					2,898			
③ 事業費	区 分		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	決 算 額	福岡中学校建設事業	14,239	10,732	93,503	552,062	2,525,661	
		小中学校リフレッシュ事業	22,273	24,578	17,005	8,891	40,938	
④ 事業評価	総括(成果と課題)	【事業の成果と課題】						
		1 福岡中学校建設事業 <ul style="list-style-type: none"> 職人の確保が難しかったことから、当初の工期を約3か月間延長せざるを得なかったが、無事故無災害で建築工事等を終了することができた。 工事現場を生きた教材として捉え、福岡中学校生徒を対象とした「光触媒に関する勉強会」や県立産業技術短大生による現場実習等が開催された。 福岡中学校生徒による旧校舎お別れ会や解体工事前最後の一般公開も行われた。 新校舎供用開始に向け、新規購入備品の搬入や引越し作業等が計画的に進められた。 今後は、旧校舎解体工事を安全に行い、事業完了に向けてグラウンドを早期に整備していく必要がある。 2 小中学校リフレッシュ事業 <ul style="list-style-type: none"> 校舎外壁の改修やプールろ過機、放送設備の更新など老朽化に伴う施設・設備の危険、不具合な箇所について、国の経済対策等有利な財源を活用し対応することができた。 今後も引き続き施設の老朽等による不具合な箇所について、計画的に改善するよう努める必要がある。 						

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況
点検・評価分析シート

主要事業	教育振興運動の推進等		担当課等	生涯学習課					
事業名称	4 社会教育の充実								
項目名称	(1)教育振興運動を基盤とした教育力の向上①								
①事務事業概要	実施根拠法令	社会教育法第5条 教育基本法第13条 二戸市社会教育団体補助金交付要綱 二戸市社会教育指導員の設置等に関する規則							
	実施方法	■直接実施 □業務委託 ■補助金交付 □その他()							
	事業費内訳	■国庫補助 □県単 ■一般財源 ■その他(地域づくり人づくり基金)							
	対象(～に対して)	小中学生及びその家庭 市社会教育団体							
	目的(目指すべき姿)	・学校、家庭、地域住民及び行政等の関係者が、教育におけるそれぞれの役割と責任を自覚しながら連携・協力を努め、自主的で創造性に富む心豊かな人間を育成する。また、生きていくために学ぶべき課題をテーマにした講座の実施など、将来の地域を担う子どもたちがたくましく心豊かに育つような体験・交流の機会を提供する。							
	事業内容 (平成25年度)	1 教育振興運動の推進(集約集会の開催、「家庭教育の手引き」配付等) 2 体験的・交流活動の提供(放課後子ども教室、槻陰舎きぼう塾) 3 社会教育団体の支援(6団体への補助金交付) 4 指導体制の充実							
②事業実績・効果	区分			単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	事業の実績	1	家庭教育学級開催数	回	48	48	48	45	43
		2	家庭教育講演会開催数	回	1	1	1	1	1
		3	子ども教室実施箇所数	力所	6	6	6	6	6
		4	槻陰舎きぼう塾年間開催数	回			5	5	5
		5	補助金交付団体数	団体	6	6	6	6	6
		6	推進センター研修参加者数	人	7	7	16	25	13
	事業効果	1	集約集会参加者数	人	118	121	109	150	117
		2	子ども教室利用者数(延べ)	人	7,692	8,174	11,283	13,542	17,122
3		槻陰舎きぼう塾申込者数	組/人			23組46人	32組63人	27組40人	
③事業費	区分			単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	決算額			千円	6,963	6,786	7,630	7,980	8,013
④事業評価	総括(成果と課題)	<p>【教育振興運動の推進に関する成果と課題】</p> <p>1. 25年度は県北教育事務所の事業を活用して集約集会を開催し、運動の趣旨や経緯などの説明をプログラムに組み込んだことで、保護者や関係者に対する意識付けができた。</p> <p>2. 小中学生の各家庭に配付している「家庭教育の手引き」については、配付時や広報誌を通じての活用の呼びかけにとどまっているため、その他にも「手引き」を活用した研修会の実施など、有効に活用されるような取り組みを展開する必要がある。</p> <p>【体験的・交流活動の提供に関する成果と課題】</p> <p>1. 子ども教室の利用者は年々増加し広く認知されてきていることがうかがえるが、それに伴い人員や設備の面で子ども一人一人に対してのきめ細かな対応が困難となっている教室もあり、今後の適正な在り方が求められる。児童クラブを所管する福祉部局とは、放課後子どもプラン運営委員会議の開催や合同研修会の開催等を通じて情報共有の機会を持ち、連携を図った。</p> <p>2. 25年度の第1回槻陰舎きぼう塾は中学2年生全員を対象としたことで、幅広く学習機会の提供が図られた。2回目以降参加する塾生の募集にあたっては、生徒のみでの申し込みも可とするなど、家庭事情に鑑みた柔軟な対応を行った。</p> <p>【社会教育団体の支援に関する成果と課題】</p> <p>1. 25年度は当市で開催したユネスコ運動県大会を支援し、運動の推進が図られた。</p> <p>【指導体制の充実に関する成果と課題】</p> <p>1. 推進センターの研修については学校や関係団体へも広く参加を呼びかけたが、研修内容や日程の都合等で参加者は減となった。</p>							

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況
点検・評価分析シート

主要事業	公民館各種講座の実施		担当課等	市立公民館					
事業名称	4 社会教育の充実								
項目名称	(1)教育振興運動を基盤とした教育力の向上-②								
①事務事業概要	実施根拠法令	社会教育法							
	実施方法	■直接実施 □業務委託 □補助金交付 □その他（ ）							
	事業費内訳	□国庫補助 □県単 ■一般財源 □その他（ ）							
	対象（～に対して）	市民全般							
	目的（目指すべき姿）	・生涯の各時期に対応する学習機会を充実し、住民の教養の向上、生活文化の振興、健康の増進等に寄与する。							
	事業内容 (平成25年度)	1 青少年教育、成人教育、女性教育、高齢者教育、芸術文化などに関する各種講座の実施。							
②事業実績・効果	区分			単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	事業の実績	1	講座の実施数	回	230	243	230	196	192
		2	現代的課題講座数	回			10	10	17
		3							
	事業効果	1	講座参加数	人	延5,750	延5,771	延5,230	延4,419	延4,055
		2	講座からサークルへの立ち上げ	団体	1	1	1	0	0
③事業費	区分			単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	決算額			千円	1,511	1,652	1,551	1,570	1,545
④事業評価	総括 (成果と課題)	【事業の成果と課題】							
		<p>1. 市民の学習要求は多様化してきており、市民の教養の向上、健康の増進、生きがいのある人生を送るため、生涯にわたる各種事業を実施する必要がある。講座の実施回数、昨年度企画した事業が都合により開催できなかったこともあり、講座実施数は減少した。</p> <p>また、講座参加者については、利用者が固定化・高齢化していることもあり、対象者や地域づくり課題を掘り下げた内容の講座を検討するなど工夫が必要と考え、取り組み始めているところである。</p> <p>2. 市民の学習要望を的確に把握し、少ない予算で最大の効果を出す努力が必要なため、職員による出前講座を利用している。また、内容によっては、講座の募集人数を多くしないで、少人数でも参加者の満足度を満たす講座への転換が必要と考え取り組んでいる。</p> <p>3. 講座募集は、広報・チラシ・FMラジオ等で市民に周知している。また、参加者の意向を知るため、事業終了後にはアンケートを回答してもらい、次回の事業に反映させるよう努めている。</p>							

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況
点検・評価分析シート

主要事業	図書サービスの充実		担当課等	図書館					
事業名称	4 社会教育の充実								
項目名称	(1)教育振興運動を基盤とした教育力の向上-③								
①事務事業概要	実施根拠法令	図書館法第3条							
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他()							
	事業費内訳	<input type="checkbox"/> 国庫補助 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 一般財源 <input checked="" type="checkbox"/> その他(地域づくり人づくり基金)							
	対象(～に対して)	市民							
	目的(目指すべき姿)	・図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して市民の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする。							
	事業内容(平成25年度)	1 図書サービスの充実 ・図書館資料の貸出 ・移動図書館車の巡回 ・各種講座の開催 ・ブックスタートの実施 ・渡辺喜恵子生誕百年記念事業							
②事業実績・効果	区分		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	事業の実績	1	開館日数	日	281	283	245	275	287
		2	移動図書館車の運行	日	132	120	133	96	96
		3	各種講座等の開催	回	22	19	23	29	15
		4	ブックスタート事業	回	12	12	12	12	12
		5	読書感想文コンクール	回	1	1	1	1	1
		6	生誕百年記念 渡辺喜恵子展	回					1
	事業効果	1	貸出人数(移動車含)	人	19,655	20,421	19,731	22,505	24,793
		2	貸出冊数(移動車含)	冊	59,385	60,058	65,909	86,688	89,219
3		新規登録者数(移動車含)	人	787	685	617	726	720	
③事業費	区分		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	決算額		千円	1,069	993	1,022	1,765	2,180	
④事業評価	総括(成果と課題)	【事業の成果と課題】 1. 市民が利用しやすい環境を作るために展示等を工夫し、利用者からも好評であった。社会の話題や生活のニーズに沿った企画展を実施したことなどから、貸出人数、貸出冊数ともに増加した。 2. 市民のニーズに応えるため、リクエストによる図書購入や県内図書館との相互貸借などにより、効率的な運営に努めた。リクエスト件数は前年度の279件から429件に増加した。主に文学作品がリクエストされ、次いで工業技術、家庭生活などの分野が多くリクエストされた。 3. 平成25年は郷土ゆかりの直木賞作家渡辺喜恵子氏の生誕100年にあたるため、記念の企画展を行った。直木賞受賞作「馬淵川」の紹介とともに、「馬淵川」に描かれた当時の二戸の様子を市民に広く紹介することができた。 4. 郷土史講座、古典文学講座も昨年度に引き続き開催し、市民の学習欲求に応えた。手づくり絵本教室においては、岩手県読書運動推進協議会主催の「手作り絵本」募集に応募し、最優秀賞1名、優秀賞2名が受賞した。 5. 市民の多様なニーズに応じていくために、図書の知識をもつ職員が必要なため、引き続き人材育成を図る必要がある。 6. 講座等においては、専門知識を持つ講師が高齢となってきたため、後継者等の育成が必要となっている。							

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況
点検・評価分析シート

主要事業	公民館施設の計画的改修		担当課等	市立公民館					
事業名称	4 社会教育の充実								
項目名称	(2) 社会教育施設的环境整備-①								
① 事務事業概要	実施根拠法令	社会教育法第 20 条から第 42 条							
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()							
	事業費内訳	<input type="checkbox"/> 国庫補助 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 一般財源 <input type="checkbox"/> その他 ()							
	対象(～に対して)	市民全般							
	目的(目指すべき姿)	・施設の適正な機能を維持する。							
	事業内容 (平成25年度)	1 施設修繕・機器修繕や更新 中央(修繕 530・原材料 20・備品購入 34) 石切所(修繕 469・原材料 160 備品 346) 金田一(修繕 1,532、備品購入 34) カシオペア(修繕 189・工事請負 7,878 備品 34)							
② 事業実績・効果	区 分		単位	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	
	事業の実績	1	修繕件数	件	16	25	23	20	25
		2	委託料	件			1		
		3	工事請負費	件	3	1	1		2
		4	備品購入費	件	8		7	1	6
事業効果	1	利用者数全館		67,488	67,248	66,538	61,701	58,832	
③ 事業費	区 分		単位	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	
	決 算 額		千円	17,862	4,660	6,243	1,429	11,227	
④ 事業評価	総括(成果と課題)	【施設の修繕と機器修繕や更新の成果と課題】 1. 施設の修繕に関しては、分館も含め予想外の修繕も生じることがある。状況を判断し、関係部署と協議し、緊急性がある場合には早急な対応することにより、安全性の確保が保持できている。(昨年9月の台風で下斗米分館の屋根が剥がれ、予備費を充用し早急対応した経緯がある。) 2. 施設の安全や整備継続のため、修繕件数は、施設の経年劣化により今後増加することが予想される。(分館の修繕費も増加してきている。) <H25 年度修繕内容と改修工事の内容> 中央(調理設備修理 2 回・ドアノブ交換・放送設備修繕・下斗米分館屋根修理 2 回) 金コミ(体育館幅射暖房機・ダンパーモーター・自動ドア 2 回・体育館排煙装置・床タイル・防犯センサー・分館給水タンク・トイレ修繕) 石切所(軒天・講義室 A クロス修理・トイレ手洗栓・湯沸かし器修理 2 回・調理室棚修理) カシオペア(公用車修繕・分館街灯・分館体育館玄関ポーチ修繕) (カシオペア屋上防水工事・排水設備改修工事) <備品購入> 中央・金コミ・カシオペア(AED バッテリー)・石切所(AED バッテリー・会議用テーブル(キャスター付き) 10 台・インクジェットプリンター)							
		3. 公民館の利用については、公民館運営審議会や利用者の要望等把握し、設備の更新や、早期修繕等により施設の利便性に努め、市民が利用しやすい環境づくりに努める必要がある。							

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況
点検・評価分析シート

主要事業	図書館の整備・充実		担当課等	図書館					
事業名称	4 社会教育の充実								
項目名称	(2) 社会教育施設的环境整備-②								
① 事務事業概要	実施根拠法令	図書館法第3条							
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()							
	事業費内訳	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫補助 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 一般財源 <input type="checkbox"/> その他 ()							
	対象(～に対して)	市民							
	目的(目指すべき姿)	・資料の充実、施設・設備の整備に努め、地域における学習の拠点としての機能を果たす。							
	事業内容 (平成25年度)	1 図書館の整備・充実 ・蔵書の充実 ・図書館システムの更新 ・正面入口自動ドア部品交換 ・移動図書館車バッテリー交換(備品)							
② 事業実績・効果	区 分		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	事業の実績	1	図書購入(寄贈含む)	冊	3,125	3,042	4,488	4,832	5,543
		2	備品購入	件			25	1	5
		3	冷温水発生装置改修	式			1		
		4	図書館改修工事 他	式			1		
		5	外壁・屋根等改修工事	式				1	
		6	図書館システム更新	式					1
事業効果	1	蔵書冊数	冊	74,301	75,984	79,806	84,638	90,181	
③ 事業費	区 分		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	決 算 額		千円	10,884	8,042	49,615	22,371	18,440	
④ 事業評価	総括(成果と課題)	【事業の成果と課題】 1. 二戸市教育振興基本計画の数値目標である平成27年度94,000冊に向けて図書を収集し、蔵書数が増加した。 2. 平成25年度は、保守期限の経過した図書館システムの機器類を更新し、新しい機器に対応したソフトウェアを導入した。あわせて図書館ホームページをリニューアルし、利用しやすい環境を整えた。 3. 図書の増加に伴い、2階閲覧室、1階閉架書庫ともに手狭になってきており、図書の保管に限界を迎えつつある。古くなり利用されなくなった図書の廃棄等、計画的な蔵書の更新を図る必要がある。							

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況
点検・評価分析シート

主要事業	郷土芸能保存団体への活動支援等		担当課等	文化財課					
事業名称	5 芸術文化の振興								
項目名称	(1) 芸術文化の振興-①								
① 事務事業概要	実施根拠法令								
	実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他()						
	事業費内訳		<input type="checkbox"/> 国庫補助 <input type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> 一般財源 <input checked="" type="checkbox"/> その他(基金繰入金)						
	対象(～に対して)		郷土芸能団体						
	目的(目指すべき姿)		・郷土芸能団体の技術的な向上と継承、活動の活性化を図るため、市指定無形民俗文化財(民俗芸能)団体に対し支援施策を講じることにより、二戸市の特性を生かした個性的な地域文化を創造する。						
	事業内容(平成25年度)		1 郷土芸能保存団体への活動支援等 ・市指定無形民俗文化財(民俗芸能)団体17団体のうち、活動している13団体に対する活動支援のための補助金交付(50,000円×13団体) ・二戸市郷土芸能祭開催補助金の交付(二戸市郷土芸能保存団体連絡協議会へ250,000円) ・二戸地区郷土芸能発表会開催負担金の交付(40,000円)						
② 事業実績・効果	区分			単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	事業の実績	1	補助金交付団体数	団体	13	13	13	13	13
		2	市郷土芸能祭参加団体数(市内)	団体	10	10	11	13	13
		3							
		4							
事業効果	1	市郷土芸能祭観客者数	人	400	400	400	402	298	
③ 事業費	区分			単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	決算額			千円	940	940	940	940	940
④ 事業評価	【事業の成果と課題】								
	総括(成果と課題)	1. 育成補助金の交付や二戸市郷土芸能保存団体連絡協議会主催の二戸市郷土芸能祭の開催については、郷土芸能団体の後継者育成の練習や発表の場の確保などに役立っている。 2. 市内全域の郷土芸能団体を対象としており、その活動成果を毎年「二戸市郷土芸能祭」で発表することにより、市民への周知を図っている。平成25年度は、二戸地区郷土芸能発表会を兼ねた二戸市郷土芸能祭に市内14団体中10団体と二戸地区から3団体の皆さんに出演いただいて開催したが、大雪の影響で観客数は大幅に減少した。 3. 二戸市郷土芸能祭の開催や三圏域(二戸市、久慈市、八戸市)郷土芸能交流祭の開催などのため、二戸市郷土芸能保存団体連絡協議会の事務局を市職員が行うことにより、加盟団体や三市などの連絡調整が効率的に行われた。 4. 後継者不足等により活動の継続が危ぶまれている郷土芸能団体が出てきており、支援施策とともに後継者確保についての取り組みが必要となっている。							

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況
点検・評価分析シート

主要事業	教育文化団体への活動支援等		担当課等	生涯学習課					
事業名称	5 芸術文化の振興								
項目名称	(1) 芸術文化の振興-②								
① 事務事業概要	実施根拠法令	社会教育法第5条							
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他（ ）							
	事業費内訳	<input type="checkbox"/> 国庫補助 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 一般財源 <input checked="" type="checkbox"/> その他（地域づくり人づくり基金）							
	対象（～に対して）	市民・市芸術文化団体・文化施設							
	目的（目指すべき姿）	<p>・日々の暮らしの中で優れた芸術文化情報にふれ、鑑賞できる機会が広まっている。また、余暇時間の増大に伴って、市民の芸術文化に寄せる関心も高まり、主婦や高齢者を中心に各種文化サークルの活動が活発になっている。</p> <p>こうしたなか、市民の芸術文化活動のさらなる奨励を図るため、公民館講座などによる創作・学習機会の提供に努めるとともに、市文化祭を通して発表機会・鑑賞機会の拡充を目指す。</p>							
	事業内容 (平成25年度)	1 教育文化団体への活動支援等 ・芸術文化団体への育成補助、文化祭の実施 ・自主文化事業の実施、文化会館リフレッシュ事業の実施（中ホール音響設備改修工事）							
② 事業実績・効果	区 分		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	事業の実績	1	補助金交付団体数	団体			4	2	2
		2	文化祭参加団体数	団体			37	37	38
		3	自主文化事業数	回			13	14	16
		4	工事名				調光装置等改修工事	冷却水ポンプ改修工事	中ホール音響設備改修工事
	事業効果	1	文化祭入場者数	人			5,467	4,907	4,312
		2	文化会館利用者数	人			59,269	51,084	69,519
3		作品展入場者数	人				200		
③ 事業費	区 分		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	決 算 額		千円			95,078	10,398	19,577	
④ 事業評価	総括（成果と課題）	【 事業の成果と課題 】							
		1. 平成23年度から5年間、（株）東北共立が文化会館の指定管理者となっている。							
		2. 適正かつ円滑な管理運営と、効率的で優れた芸術鑑賞機会の提供に努めているが、市民文化会館自主文化事業の開催などにより、芸術鑑賞機会の充実が図られている。また、文化祭の実施により、市民の自主的な文化活動を推進している。							
		3. 子どもから大人まで幅広く、芸術鑑賞機会の提供できるように努めるとともに、芸術文化の環境整備に努めている。							
		4. 利用者数は、年度によって増減はあるものの、ほぼ横ばいである。							
		5. 芸術文化団体の組織強化と、市民が主体的に活動に参加し、その成果を発表できる環境づくりが求められている。また、日常的に芸術文化に触れる機会や優れた鑑賞機会の提供・支援に努めることが求められている。							

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況
点検・評価分析シート

主要事業	天台寺文化財修繕事業の促進		担当課等	文化財課					
事業名称	5 芸術文化の振興								
項目名称	(2)文化財の保護・保存と活用－①								
① 事業概要	実施根拠法令	文化財保護法							
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他()							
	事業費内訳	<input type="checkbox"/> 国庫補助 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 一般財源 <input type="checkbox"/> その他()							
	対象(～に対して)	天台寺							
	目的(目指すべき姿)	・重要文化財である天台寺の本堂・仁王門の解体修理を支援・推進する。							
	事業内容 (平成25年度)	1 天台寺文化財修繕事業の促進 ・文化財建造物保存修理関係者等連絡協議会への参加(情報収集) ・関係機関(国及びその外郭団体、県、寺等)との協議、打合せの推進							
② 事業実績・効果	区分		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	事業の実績	1	協議会へ参加	回			1	1	1
		2	関係機関との協議	回			4	3	5
		3	会議等への出席	回			1	1	2
		4	保存修理委員会の開催	回					3
	事業効果	1							
③ 事業費	区分		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	決算額		千円			225	182	4,525	
④ 事業評価	総括(成果と課題)	【事業の成果と課題】 1. 現在の天台寺本堂・仁王門は江戸時代前期(約350年前)の建築であり、腐朽が進み早急な修復が必要とされる。 なお、平成25年9月より国庫補助として保存修理工事に着手している。 2. 文化庁等の関係機関と協議を重ねることで現在進めている保存修理工事に必要な情報共有し、速やかな事業推進が図られた。また、文化財建造物保存修理関係者等連絡協議会等への参加の結果、修復事業に必要な情報収集が図られた。 3. 保存修理工事の進捗にともない、宗教法人天台寺、文化庁と適切な時期に協議を行い、効率性に取り組んだ。							

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況
点検・評価分析シート

主要事業	史跡九戸城跡の保護と活用		担当課等	文化財課					
事業名称	5 芸術文化の振興								
項目名称	(2)文化財の保護・保存と活用ー②								
①事務事業概要	実施根拠法令	文化財保護法 二戸市文化財保護条例 二戸市文化財保護条例施行規則							
	実施方法	■直接実施 ■業務委託 ■補助金交付 □その他 ()							
	事業費内訳	■国庫補助 □県単 ■一般財源 □その他 ()							
	対象(～に対して)	市民							
	目的(目指すべき姿)	<ul style="list-style-type: none"> ・史跡の保存・保護並びに活用のため、学術調査や危険箇所の補強・修景工事などを実施し、将来的には史跡公園化を図る。 ・史跡九戸城跡における史跡指定地買上げ(平成30年度完了予定) 							
	事業内容(平成25年度)	1 史跡九戸城跡の保護と活用 <ul style="list-style-type: none"> ・史跡指定地内の民有地の公有化 ・二ノ丸跡の内容確認調査の実施 ・史跡九戸城跡整備指導委員会の開催 ・九戸城ボランティアガイドの会、九戸城を活かす会への補助金交付 							
②事業実績・効果	区分		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	事業の実績	1	購入面積	m ²	1,194.29	1,237.09	1,174.00	3,780.00	153.46
		2	学術調査	m ²	200	700	500	500	0
		3	整備指導委員会	回	1	1	1	1	1
		4	補助金交付団体数	団体	2	2	2	2	2
事業効果	1	九戸城跡来訪者ガイド案内者数	人	2,407	2,371	2,494	2,537	2,181	
③事業費	区分		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	決算額		千円	30,869	29,744	20,081	28,081	32,353	
④事業評価	総括(成果と課題)	<p>【事業の成果と課題】</p> <p>1. 平成25年度は、史跡公有化事業によって153.46m²を購入し、史跡指定区域内の公有地化を計画している総面積189,620.23m²のうち、174,255.61m²(91.9%)の公有地化が完了した。また、居宅1棟等の移転等の補償を行った。平成30年度の事業完了に向けて、継続的に取り組む必要がある。</p> <p>2. 九戸城跡の来訪者数はほぼ横ばいであるが、土日の九戸城跡の案内を九戸城ボランティアガイドの会が行うなど、関係団体と連携し九戸城跡の活用に努めた。今後も関係団体との調整を図っていく必要がある。</p> <p>3. 史跡九戸城跡はまちづくりの中核をなす重要な遺跡であり、その保護保存と活用は不可欠な主要施策である。整備指導員会では第2次整備計画案の作成を提言されており、早期の整備計画作成が必要である。</p>							

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況
点検・評価分析シート

主要事業	市内遺跡発掘調査事業等			担当課等	文化財課				
事業名称	5 芸術文化の振興								
項目名称	(2)文化財の保護・保存と活用ー③								
①事務事業概要	実施根拠法令	文化財保護法 二戸市文化財保護条例 二戸市文化財保護条例施行規則							
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()							
	事業費内訳	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫補助 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 一般財源 <input checked="" type="checkbox"/> その他(受託料)							
	対象(～に対して)	市民							
	目的(目指すべき姿)	<ul style="list-style-type: none"> ・市内遺跡から出土した埋蔵文化財の保護活用の推進 ・埋蔵文化財包蔵地の保護 ・市民の郷土・歴史や文化財に対する関心・理解を深める。 							
	事業内容 (平成25年度)	1 市内遺跡発掘調査事業等 <ul style="list-style-type: none"> ・市内遺跡の緊急発掘調査、室内整理作業、報告書の作成 ・埋蔵文化財の科学的な保存措置の実施 ・体験学習の実施(はんこづくり、のぞいてみよう埋文センターの裏側) ・土地区画整理事業に先立つ緊急発掘調査の実施(晴山地区、前小路地区) ・市内の文化財調査 							
②事業実績・効果	区 分		単 位	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	
	事業の実績	1	発掘調査	件	2	1	3	4	5
		2	体験学習の回数	回	53	46	54	10	2
		3	保存処理	個	213	26	78	99	98
		4	文化財調査	件			4	4	4
事業効果	1	文化財指定	件				1	1	
③事業費	区 分		単 位	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	
	決 算 額		千円	29,817	34,600	37,122	38,389	39,304	
④事業評価	【事業の成果と課題】								
	総括(成果と課題)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 埋蔵文化財に関しては、発掘調査(5件)の実施、遺跡調査報告会の開催、体験学習(2回)の開催など保護活動が有効に図られた。 2. 文化財調査委員会議の開催(2回)、文化財調査を実施することで指定候補物件の検討を図ることができた。平成25年度は、折爪岳のヒメボタルを指定した。 3. 発掘調査に関わる関係機関との連絡協議を随時実施している。 							

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況
点検・評価分析シート

主要事業	市史編さん事業の推進			担当課等	生涯学習課				
事業名称	5 芸術文化の振興								
項目名称	(3) 郷土への誇りと愛着を深める地域文化の継承―①								
① 事務事業概要	実施根拠法令								
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()							
	事業費内訳	<input type="checkbox"/> 国庫補助 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 一般財源 <input type="checkbox"/> その他 ()							
	対象(～に対して)	市民							
	目的(目指すべき姿)	・二戸市固有の地域文化についての調査・保護・保存・活用を通して、市民の郷土への誇り、郷土愛を育む。また、市史の発行を通して、本市の成り立ちや歴史、先人などの足跡を知り、それぞれの家庭で語り合えるよう、史料叢書の完成を目指す。							
	事業内容 (平成25年度)	1 史料叢書の発行、資料叢書別冊の増刷、郷土教育資料復刻集の発行							
② 事業実績・効果	区 分		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	事業の実績	1	史料叢書発行	集		第12集「五日町検断所文書・御蔵肝入控帳」	第13集「二戸郡福岡村用係文書」	第14集「東北の松下村塾 会輔社(上)」	第15集「東北の松下村塾 会輔社(中)」
		2	史料叢書別冊発行	巻	続二戸歴史物語				続二戸歴史物語(増刷)
		3	資料復刻集発行	巻		郷土教育資料復刻集・福岡編Ⅰ	郷土教育資料復刻集・福岡編Ⅱ～Ⅴ	郷土教育資料復刻集・浄法寺編Ⅰ	郷土教育資料復刻集・浄法寺編Ⅱ
		4							
事業効果	1	印刷物売捌料	千円	603	703	276	282	266	
③ 事業費	区 分		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	決 算 額		千円	4,088	3,753	4,776	4,284	5,345	
④ 事業評価	総括(成果と課題)	【事業の成果と課題】							
		1. 市史編さん嘱託員2人のほか、資料調査員1人で、収集した史料をまとめている。 2. 平成25年度は、二戸史料叢書第十五集「東北の松下村塾 会輔社(中)」を発刊。400冊、2,000円。別冊史料冊子「紀元二千六百年記念 郷土教育資料復刻集(二) 浄法寺編Ⅱ」30冊発刊。 3. 市史編さん嘱託員は高齢であり、後継者の問題がある。							

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況
点検・評価分析シート

主要事業	歴史民俗資料の収集と研究の推進		担当課等	文化財課				
事業名称	5 芸術文化の振興							
項目名称	(3) 郷土への誇りと愛着を深める地域文化の継承-②							
① 事務事業概要	実施根拠法令	二戸市立歴史民俗資料館条例 二戸市立歴史民俗資料館管理規則						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他()						
	事業費内訳	<input type="checkbox"/> 国庫補助 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 一般財源 <input checked="" type="checkbox"/> その他(使用料等)						
	対象(～に対して)	市民						
	目的(目指すべき姿)	<ul style="list-style-type: none"> ・学術文化の発展に寄与するため、歴史民俗資料館を設置する。 ・二戸市立歴史民俗資料館運営委員会を開催し、「資料の収集、保管、展示等に関すること」「資料の調査研究、利用等に関すること」「その他資料館の運営に関すること」に関し調査審議し、資料館の円滑な管理運営を図る。 						
事業内容 (平成25年度)	1 歴史民俗資料の収集と研究の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・調査研究、各種照会への対応 ・各種講座の開催 ・二戸市立歴史民俗資料館運営委員会の開催(5月、11月) 							
② 事業実績・効果	区分		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	事業の実績	1 入館者数(二戸)	人	1,088	1,157	1,146	1,000	778
		2 入館者数(浄法寺)	人	736	944	603	764	669
		3 講座等(二戸)	回	13	19	18	19	20
		4 講座等(浄法寺)	回	1	2	5	5	4
	事業効果	1 講座等参加者(二戸)	人	1,225	703	804	943	685
2 " (浄法寺)		人	361	277	583	211	422	
③ 事業費	区分		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	決算額		千円	6,626	7,464	7,814	5,617	6,090
④ 事業評価	総括(成果と課題)	【事業の成果と課題】 <p>1. 二戸・浄法寺両資料館は、それぞれの地域の特色を生かした展示をしている。また、過去の民俗資料等の受け皿としての機能を果たしており、各種照会についての対応も行っている。各種照会については二戸資料館が61件、浄法寺資料館が59件である。また文化祭期間中に、二戸資料館では、二戸市にゆかりの深い直木賞作家の渡辺喜恵子生誕100年を記念した特別展を開催し約90人が来館、浄法寺資料館では、「ちょっと昔の浄法寺」と題した特別展を開催し336名が来館した。なお、講座等については、二戸資料館では「新・にのへ物語Ⅷ」を8回開催し、参加者は延べ170人、浄法寺資料館では、「糠部三十三観音巡り」を2日間で実施し、延べ56名の参加を頂いた。</p> <p>2. 市内外の小学校の学習の場としても利用されている。(二戸資料館7校、浄法寺資料館2校)</p> <p>3. 地域の文化・歴史・民俗などを知るうえで、展示している資料は貴重な宝であり、後世に永く伝えることが求められている。 また、調査研究を進め、新たな民俗風習等を解明する必要がある。</p>						

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況
点検・評価分析シート

主要事業	スポーツ指導者の育成・健康づくりの支援等		担当課等	生涯学習課					
事業名称	6 スポーツ・レクリエーションの振興								
項目名称	(1)みんなが楽しむスポーツの振興－①								
① 事務事業概要	実施根拠法令	スポーツ基本法、二戸市立学校施設の開放に関する規則							
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他()							
	事業費内訳	<input type="checkbox"/> 国庫補助 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 一般財源 <input type="checkbox"/> その他()							
	対象(～に対して)	市民							
	目的(目指すべき姿)	・総合型地域スポーツクラブの設置により、市民が身近な地域でスポーツに親しめる環境整備に努める。 ・スポーツ指導者の育成を図り、スポーツ・レクリエーション活動の普及に努める。 ・学校体育施設を地域の生涯スポーツ活動施設として開放し、市民の体力向上に努める。							
	事業内容 (平成25年度)	1 総合型スポーツクラブの創設援助 2 スポーツ指導者の育成支援 3 教育委員会が指定した学校の体育施設の開放 4 スポーツ・レクリエーション活動の普及							
② 事業実績・効果	区 分		単 位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	事業の実績	1	総合型スポーツクラブ数	団体	2	2	2	2	2
		2	スポーツ少年団指導者数	人	162	168	163	163	150
		3	学校開放事業利用登録団体	団体	18	15	15	11	14
		4	利用日数	日	453	317	306	211	278
	事業効果	1	指導者研修受講者数	人	17	6	7	12	14
2		学校開放事業利用人数	人	5,233	3,583	3,474	2,232	3610	
③ 事業費	区 分		単 位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	決 算 額		千円	206	98	132	125	119	
④ 事業評価	総括(成果と課題)	<p>【総合型スポーツクラブの創設援助の成果と課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 当市には、カシオペア氷上スポーツクラブと浄法寺スポーツクラブがあり、会員と地域住民により自主運営されており、市民へ運動の機会を提供している。 2. 各種スポーツ教室の実施により、市民が運動に取り組むきっかけづくりとなっている。 3. 今後のクラブ創設にあたり、地域をまとめるリーダーシップが取れる人材の育成が必要である。 <p>【スポーツ指導者の育成支援の成果と課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 年2回開催される研修会等には、各種スポーツの指導に携わる人達を派遣し、指導者研修並びに資格取得を図り、指導体制の充実を図った。 2. 子供たちのスポーツ活動の情報交換と指導方法についての意見交換の機会となった。 3. スポーツ少年団の指導者は保護者が多いため、子供が退団すれば指導者登録をしないので、人数は横ばい状況である。 4. 指導者の育成支援には、学校や保護者等との連携並びに情報交換をする機会の設定が必要である。 <p>【教育委員会が指定した学校の体育施設の開放の成果と課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学校の体育施設を開放することにより、定期活動したい団体への貸し出しが可能となり、スポーツ活動に取り組みやすい環境づくりが図られた。 2. スポセン等の利用状況が緩和されたことにより、個人利用者への利便が図られた。 3. 学校に屋外照明施設が設置されるようになり、体育館以外も開放事業として行うか検討する段階にきている。 <p>【スポーツ・レクリエーションの普及の成果と課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 市民総参加スポーツ大会をはじめ、ニュースポーツ大会などを実施し、スポーツに親しむ機会の提供を図った。 (総参加スポーツ大会 6競技 262人 浄法寺地区体育祭 250人 ニュースポーツ大会 4競技 123人) 2. 市民の要望に沿ったスポーツ教室の実施に努めた。 							

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況
点検・評価分析シート

主要事業	スポーツ施設の整備・充実		担当課等	生涯学習課					
事業名称	6 スポーツ・レクリエーションの振興								
項目名称	(1)みんなが楽しむスポーツの振興-②								
①事務事業概要	実施根拠法令								
	実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
	事業費内訳		<input type="checkbox"/> 国庫補助 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 一般財源 <input checked="" type="checkbox"/> その他（起債）						
	対象（～に対して）		市民						
	目的（目指すべき姿）		・既存の施設の整備を進めるとともに、市民が気軽にスポーツ・レクリエーション活動ができる施設の整備や充実に努める。						
	事業内容 （平成25年度）		1 体育施設の整備、修繕、改修						
②事業実績・効果	区 分		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	事業の実績	1	修繕	件	29	44	40	3	3
		2	改修工事	件	3	3	2	4	6
	事業効果	1	大規模改修	件	3	3	2	1	4
③事業費	区 分		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	決 算 額		千円	63,689	10,989	19,497	113,574	42,089	
④事業評価	総括 （成果と課題）	<p>【体育施設の整備、修繕、改修の成果と課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> 指定管理者が行う修繕工事では手続きが簡素化されたことにより、従前より修繕期間が早まった。 地域の元気交付金や補助金等の活用により、効率的な施設整備が図られた。 トイレの洋式化や水洗化が図られ、衛生環境が整備された。 修繕や改修は計画的に実施しているが、老朽化による解体撤去も含めて検討していく必要がある。 改修工事費のかさむ施設は早期修繕が難しいため、優先順位を考慮しながら進めている。 各施設とも駐車場が不十分な状態であり、拡張や舗装など環境整備が必要である。 <主な修繕（単位：千円）> 堀野近隣公園高圧気中開閉器（388）、総合スポーツセンターキュービクル（263）、 浄法寺体育館バスケットコートライン修繕（315） <主な改修工事（単位：千円）> 二戸体育館地下タンク廃止（210）、横山グラウンド流末処理（800）、大平球場送水ポンプ更新（3,045）、 浄法寺体育館トイレ改修、下水道接続（9,643）、浄法寺運動公園トイレ水洗化（4,276）、二戸体育館屋根改修（23,149） 							

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況
点検・評価分析シート

主要事業	各種スポーツ大会・教室の開催		担当課等	生涯学習課					
事業名称	6 スポーツ・レクリエーションの振興								
項目名称	(2) 夢と感動の競技スポーツの推進								
① 事務事業概要	実施根拠法令	補助金交付要綱							
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他()							
	事業費内訳	<input type="checkbox"/> 国庫補助 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> 一般財源 <input checked="" type="checkbox"/> その他(地域づくり人づくり基金)							
	対象(～に対して)	市民							
	目的(目指すべき姿)	・県大会以上のスポーツ大会を招致・開催することにより、競技スポーツ技術の習得とスポーツに対する市民の意識の高揚を図る。							
	事業内容(平成25年度)	1 各種スポーツ大会等の開催補助							
② 事業実績・効果	区分		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	事業の実績	1	岩手総体記念 剣道練成大会	回	1	1	1	1	1
		2	東北総合体育大会 剣道競技	回		1			
		3	日本車いすカーリ ング選手権大会	回			1	1	
		4	Bjリーグ 公式戦	回			1	1	2
		5	県学童新人野球大 会	回	1	1	1	1	1
		6	オリンピックパブリ ックビューイング	回					6
事業効果	1	県大会以上 出場者数	人	715	803	713	722	731	
③ 事業費	区分		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	決算額		千円	90	590	810	1,090	990	
④ 事業評価	総括(成果と課題)	【各種スポーツ大会の開催補助の成果と課題】 1. 全国レベルの講演会やスポーツ大会・イベントの招致により、市民の競技力向上に対する意識の高揚が図られた。 2. 一流アスリート等によるスポーツ教室の実施では、技術の習得と指導者の知識向上が図られた。 3. カーリング競技のパブリックビューイングにより、市民にカーリング並びにオリンピックへの盛り上がりの一助となった。 4. 県大会等大きな大会に出場することで、技術の向上と精神鍛錬の機会となった。 5. 継続的な実施により、学習機会の拡充と技術や知識の習得が常に得られる環境づくりが必要である。 6. 選手の強化や技術支援などの対策が必要である。 <県大会以上の開催実績> 岩手総体記念剣道練成大会約600人、bjリーグ公式戦約1,800人、岩手県学童新人野球大会約900人、ソチオリンピックパブリックビューイング約300人、スポーツ指導者研修会113人、 <一流アスリート等によるスポーツ教室・実績> 阿部繁孝野球教室80人(講師DeNAプロ野球選手)							